

U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

米国 製造業受注の拡大ペースは鈍化傾向(05年3月製造業受注・在庫・出荷)

発表日：05年5月3日(火)

～数ヶ月は拡大ペースが鈍化する公算～

(No. UI-022)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

製造業受注 Manufacturers' Shipments and Orders

	出荷				受注				在庫			
	製造業	除く輸送機器	非国防資本財	除く輸送機器	製造業	除く輸送機器	非国防資本財	除く輸送機器	製造業	除く輸送機器	非国防資本財	除く輸送機器
03/4Q	+2.3	+2.4	(+5.2)	+2.9	+3.2	+2.6	(+6.9)	+2.4	+0.1	+0.0	+0.5	
04/1Q	+2.9	+2.9	(+7.5)	+2.9	+2.5	+3.2	(+8.9)	+3.7	+1.4	+1.5	▲0.3	
04/2Q	+3.4	+4.2	(+12.4)	+2.2	+3.2	+3.6	(+14.2)	+1.9	+2.2	+2.4	+2.4	
04/3Q	+2.1	+2.6	(+11.2)	+3.5	+2.4	+2.4	(+12.4)	+3.3	+1.8	+2.1	+2.3	
04/4Q	+1.9	+2.2	(+10.8)	+2.3	+1.9	+2.2	(+12.0)	+1.5	+1.8	+1.9	+1.5	
05/1Q	+1.5	+1.9	(+9.3)	+3.1	+0.4	+1.8	(+10.5)	+4.2	+0.6	+0.5	+2.2	
04/03	+4.2	+4.8	(+9.7)	+3.6	+5.0	+5.2	(+11.6)	+6.2	+0.4	+0.5	+0.2	
04/04	▲0.1	+0.7	(+12.4)	+1.4	▲1.1	▲0.3	(+14.5)	▲2.1	+0.5	+0.5	+0.1	
04/05	+0.6	+0.6	(+12.6)	▲2.8	+0.4	+0.8	(+14.5)	▲2.0	+0.7	+0.9	+1.2	
04/06	+1.1	+1.2	(+12.2)	+2.6	+1.2	+0.6	(+13.7)	+1.8	+1.0	+1.1	+1.1	
04/07	+0.9	+1.7	(+10.3)	+2.3	+1.7	+0.8	(+11.9)	+0.6	+1.0	+0.9	+0.9	
04/08	+0.9	+0.3	(+13.2)	+0.9	▲0.3	+1.2	(+13.3)	+0.7	+0.7	+0.9	+0.7	
04/09	▲1.1	▲1.0	(+10.0)	▲0.3	+0.0	+0.6	(+12.2)	+5.4	+0.1	+0.2	+0.6	
04/10	+1.6	+2.1	(+11.1)	+2.4	+0.9	+1.0	(+11.5)	▲4.0	+0.9	+1.0	+0.5	
04/11	+0.4	+0.6	(+11.0)	▲1.7	+1.4	+0.0	(+12.8)	+1.2	+1.0	+0.9	+1.0	
04/12	+1.2	+0.8	(+10.2)	+3.1	+0.5	+1.0	(+11.7)	+3.4	+0.1	+0.2	+0.6	
05/01	+1.1	+1.5	(+11.3)	+3.6	▲0.0	+1.1	(+11.9)	+4.4	+1.5	+1.5	+1.2	
05/02	▲1.5	▲1.2	(+9.8)	▲2.6	▲0.5	▲0.6	(+11.9)	▲2.1	+0.6	+0.5	+0.2	
05/03	+1.3	+1.6	(+6.7)	▲0.8	+0.1	+1.3	(+7.7)	▲4.0	+0.6	+0.5	+0.2	

出所) 商務省

注) 四半期は前期比、月次は前月比伸び率。Ⅹ内は季節調整値の前年比。

製造業受注は前月比 +0.1%、除く輸送 機械は同+1.3%

05年3月の製造業受注は、前月比+0.1%と3ヵ月ぶりに増加に転じた。2月が同+0.2%から▲0.5%に下方改定されたことを考慮しても市場予想の同▲1.2%を上回った。耐久財が同▲2.3%となったものの非耐久財が同+2.8%とプラスに転じた。

四半期では1～3月期に前期比年率+1.8%と10～12月期の同+7.7%から減速している。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でも3月に+1.8%と2004年5月の+21.0%をピークに製造業受注は鈍化傾向を辿っている。さらに、製造業受注に先行するISM受注指数が4月にかけて低下していることから、今後数ヶ月製造業受注は鈍化傾向を辿るとみられる。

一方、変動の大きい輸送機器を除いた製造業受注は、一次金属、加工金属、コンピューター・電子機器の増加によって前月比+1.3%（2月同▲0.6%）と再び増加に転じた。四半期では1～3月期は前期比年率+7.5%と10～12月期の同+9.2%から小幅鈍化にとどまっている。また、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でも3月に+7.5%と2月の同+7.9%から小幅減速にとどまっており、2004年5月の+22.4%をピークに鈍化している状況は製造業受注全体と変わらないものの変動の大きい輸送機械を除く製造業受注は緩やかな鈍化となっている。

業種別の受注では一次金属、加工金属、コンピューター・電子機器が増加

業種別の受注動向をみると、一次金属、加工金属、コンピューター・電子機器が増加したものの、一般機械、電気機械、輸送機器が減少した。

1次金属は旺盛な需要を映じて前月比+0.8%（2月同+0.6%）と加速した。加工金属は最終需要の堅調により同+0.8%（同▲1.3%）と増加に転じた。コンピューター・電子機器では、コンピューターが同▲13.5%（同+2.5%）と減少したものの、電子医療機器・計測器・制御装置が同+17.3%（同▲1.7%）とプラスに転じ、国防関連通信機器が同+412.4%（同+31.3%）と加速したことによって、全体でも同+3.5%（同+1.0%）と加速した。

一方、一般機械は、印刷機器、換気装置・暖房・空調・冷蔵機器が増加したものの、建設機器、鉱業・石油掘削・ガス掘削機、産業機械、金属加工機械、タービンが減少したため前月比▲7.2%（2月同▲0.4%）とマイナス幅が拡大した。ただし、稼働率の改善、更新需要の増加等を背景に再び増加に転じると考えられる。電気機械は家庭用機器、電気設備の低下によって同▲3.4%（2月同▲5.7%）と減少したが、1月に同+13.6%と高い伸びとなった反動と考えられる。輸送機器では、船舶・ボートが増加した一方、米自動車メーカーによる生産調整の実施によって自動車・同部品が同▲2.9%と3ヵ月連続の減少となった。さらに、中国等からのボーイング新型機の受注拡大によって2月に押し上げられた反動で非国防航空機・同部品が同▲22.7%、国防関連航空機・同部品が同▲18.9%となったため、輸送機械全体で同▲7.3%と大幅に減少した。家具は同▲1.1%（同+5.0%）となったが、住宅販売が好調を維持していることから一時的な減少と考えられる。

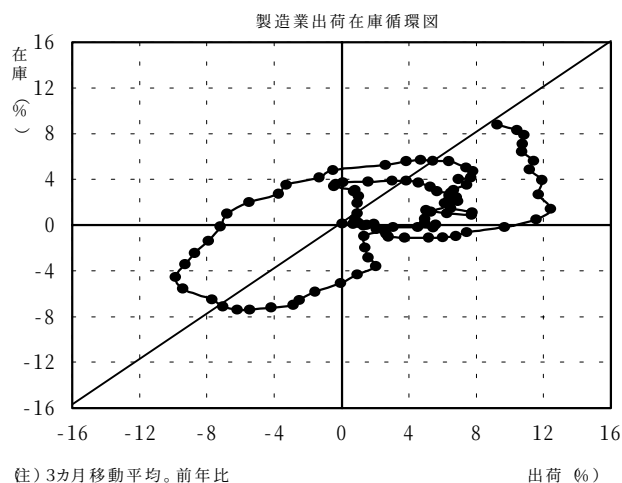
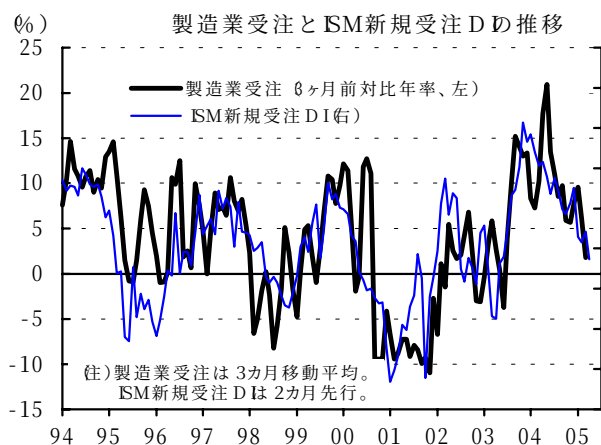
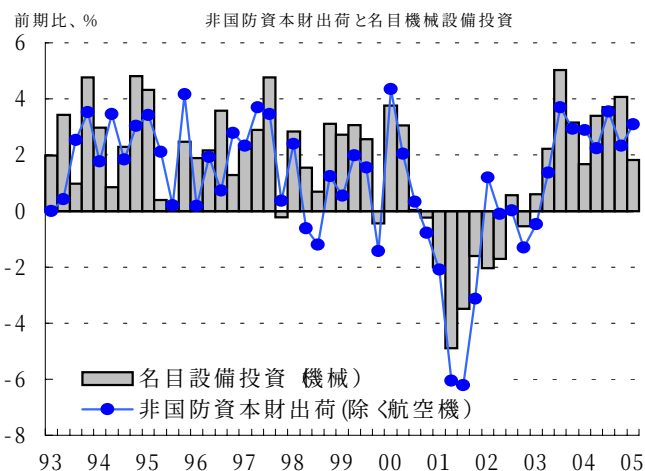
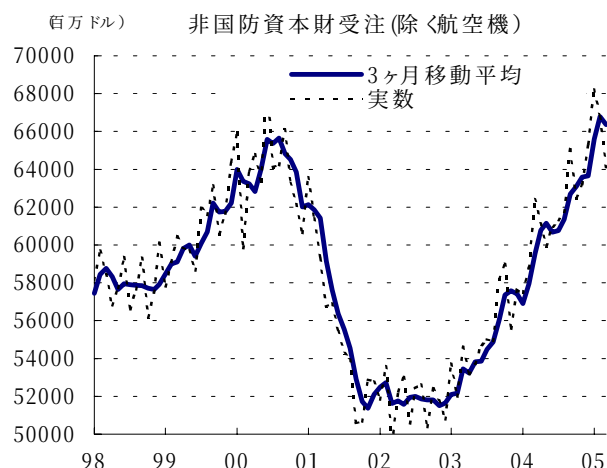
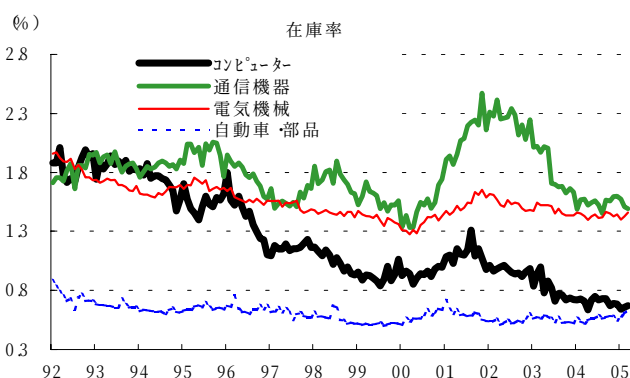
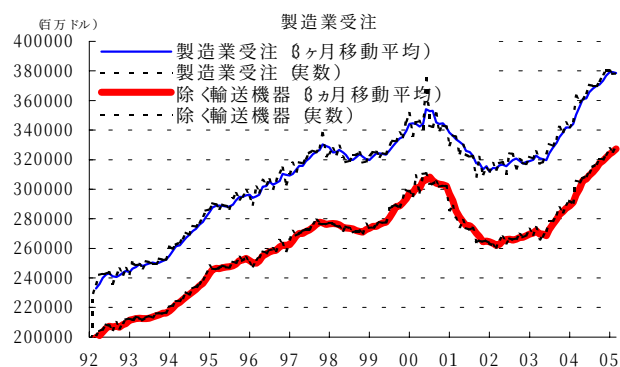
設備投資は1～3月期が上方改定され、4～6月期には伸び率が加速する公算

次に設備投資関連の指標をみると、機械・ソフトウェア投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）は、3月に前月比▲0.8%（速報同▲1.1%）と減少したが、2、3月合計で0.5%ポイント上方改定された。1～3月期では前期比年率+12.9%（速報同+11.8%）と上方改定されており、1～3月期の機械・ソフトウェア投資は前期比年率+6.9%から上方改定される見込み。

一方、機械・ソフトウェア投資の先行指標である非国防資本財受注（除く航空機）は、前月比▲4.0%（4.7%）（2月同▲2.5%）と2ヵ月連続の減少となった。しかし、2、3月合計で1.1%ポイント上方改定され、1～3月期では前期比年率+18.0%（速報同+15.8%）と10～12月期の同+6.3%から大幅に加速していることから、機械・ソフトウェア投資は4～6月期に拡大ペースが加速すると予想される。

製造業受注は7～9月期以降拡大ペースを速めよう

製造業受注は2004年前半に急増した影響等により、足下で鈍化傾向を辿っている。製造業受注に影響を与える需要動向をみると、内需では、個人消費、設備投資の堅調持続が予想される。一方、在庫の拡大ペース抑制が見込まれる。さらに、輸入の高い伸びが持続する一方、輸出は海外景気の成長ペース鈍化の影響で緩やかな伸びにとどまり純輸出の大幅なマイナス寄与が続くとみられることから、実質GDPは前期比年率+3%台前半が見込まれる。このような景気のもと、4～6月期も製造業受注は鈍化が見込まれる。年後半には海外景気の持ち直しに伴い輸出の拡大ペース加速が見込まれ、成長率は前期比年率+3%台後半が予想され、7～9月期以降製造業受注も増加ペースを速める公算が大きい。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。